

関西国際空港スマート愛ランド推進協議会による温室効果ガス排出量削減の取組み

「ECCO ACTION KIX?小さな行動から大きな成果へ?」

関西エアポート株式会社では、関西国際空港の島内事業者（48団体）のみならずから構成されるスマート愛ランド推進協議会の取組みの一環として、2015年度から各事業者さまの施設から排出される温室効果ガス（CO₂）を、2017年度までに2013年度（基準年度）比5%に相当する3,000t-CO₂の排出量を削減することを目標におきました。活動の取組みにあたっては、「ECCO ACTION KIX?小さな行動から大きな成果へ?」のスローガンを掲げ推進しています。

2015年度の温室効果ガス（CO₂）排出量は、島内事業者のみならずによるクールビズの導入、休憩時間の消灯、LED化の推進などさまざまな省エネ施作の効果から、基準年度の電気使用量に

対して10%、CO₂排出量では、目標値を超える3,200t-CO₂を削減できました。また、島内事業者のみならずによるオフィス紙及びプラスチック製の容器やビニール袋についても、両面印刷の推進、データー化、IT化などによるオフィス紙の使用量削減、ごみの減量化、再資源化などさまざまな取組を行い2014年度比では47t（2014年度比の6%）もの可燃ゴミ排出量を削減し、その他、公共交通機関の利用、アイドリングストップを始めとするエコドライブを行いました。

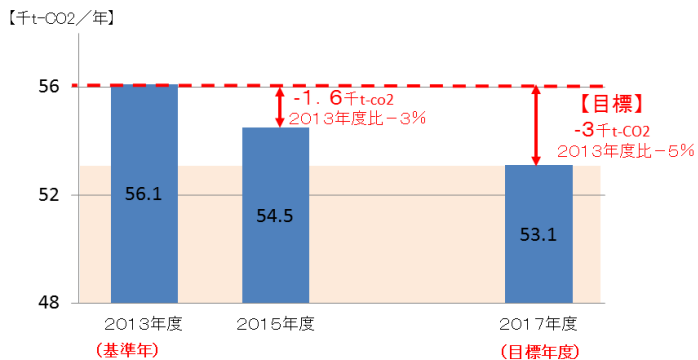
新関西国際空港株式会社の発表資料により、航空機の総発着回数が前年比16.6%増で、開港以降初めて16万回を上回りました。事業活動の活発化に伴い業務車両などからのCO₂排出量

は増加しましたが、基準年度に対し3%にあたる1600t-CO₂を削減することが出来ました。また、関西エアポート株式会社におきましても同様にさまざまな取組を行い、2013年度比では2%にあたる1,300t-CO₂の温室効果ガス排出量を削減しました。

【温室効果ガス(CO2)排出量削減の取組概要】



【温室効果ガス(CO2)排出量の削減目標と推移(島内事業者施設)】



【温室効果ガス(CO2)排出量推移(空港施設全体)】

